

教員名	藤田 宗和 (FUJITA Munekazu)
所属	生活科学部人間生活学科発達臨床心理学講座
学位	修士
職名	教授
URL / E-mail	mu-fuji@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

心理査定 / 投映法 (TAT) / 犯罪・非行

◆主要業績

- ・” 犯罪と非行” 24 章「社会と心の病態」 心理学総合事典 朝倉書店 2006
- ・” TAT から見た「逆恨み殺人」の心理機制” 「心理査定実践ハンドブック」 創元社 2006
- ・鑑定書「現住建造物放火未遂事件」 横浜地方裁判所小田原支部 平成 17 年 (わ) 第 4 5 8 号 2006

◆研究内容

投影法である TAT 物語産出の基礎過程を実験的研究し、その産出プロセスを形式的、内容的に分析し、分析・解釈のための標準的な資料を収集した。現在、その資料を分析中であり、今後、標準的な物語産出プロセス、物語内容の特色を発表する予定である。

◆教育内容

生活科学部・人間生活学科・発達臨床心理学講座における教育内容:「人格心理学」,「発達臨床基礎演習」,「教育発達講義購読」,「発達臨床論文演習」等を教授
 大学院人間文化研究科・発達社会科学専攻 (発達人間科学系)・発達臨床心理学コースにおける教育内容:「非行臨床心理学特論」,「臨床心理査定演習 (実践)」,「発達社会科学論」,「特別研究」等を教授
 学部, 大学院とも, 臨床心理学における心理査定を中心に教授している

◆共同研究可能テーマ

- ・ 投映法の信頼性，妥当性の研究
- ・ 最近の犯罪，非行少年の意識の変化と現代日本人の意識

◆将来の研究計画・研究の展望

心理テスト，特にT A Tの物語産出の基礎過程を明確化することで，T A Tの物語の標準的な分析法，解釈法を開発し，その妥当性を高め，臨床心理査定分野での投映法の利用価値を高める。

調査研究，また鑑定などの実践活動を通して，現代の犯罪，非行の変化とその背景にある現代日本人の意識の変化との関係を検討し，犯罪，非行の防止に資する資料を提供する。

◆受験生等へのメッセージ

学部，大学院とも，臨床心理学，特に心理査定の理論と実践を中心に研究，教授しています。また，これらの成果を援用して，特に犯罪，非行領域において，犯罪者や非行少年の主観的な世界を描き出す中で，その原因，背景を解き明かし，彼らの更生を図るための手がかりを探求しています。

具体的には，心理査定において関心のあるものは，T A Tという投映法テストで，その標準的な分析，解釈法を開発することが研究テーマです。また，犯罪の鑑定の実践を通して，最近の犯罪の質的な変化を検討する中で，現代日本人の意識の変化についても関心を広げています。